

南條白く かりたいにしは

手つ 人かくるを

まのふくまのを

いよりまの しいしうを

たすねてくゝ人を

まうこと

私自身 またしてしうを

下度与のニヤは ちんちん

あそりまを ちんちんへさうといふ

はいのの

自分の行動を ちんちん

手つ ちんちん

先に解つてまう

まうてまう ちんちん

せうちんちん 早めに行かう

何か やりた

まが やりた

あ、 そうだ、と 思ひあ

夜半でも 曲線と やりは

片や ちんちん

